



岡山市立福南中学校通信 発行：校長 小野 大

# いろいろな活動を頑張っています！

気持ちのよいあいさつができる学校を目指して、生徒会執行部は「福南あいさつNo1」と書かれた横断幕を持って校門付近でのあいさつ運動を頑張ってくれています。

生活委員の皆さんも曜日毎に学年担当を決めて、気持ちよいあいさつや元気なあいさつを頑張ってくれています。慣れてないときは、あいさつをすることに少し照れるかも知れないけど、

昨日よりちょっと勇気を出してみよう。

また、この夏休み中に福南地区の育成協議会がフェンスに掲示できる「あいさつ運動の横断幕」を小中学校に作成してくれることになりました。7月25日に生徒会執行部と児童会執行部が本校に集まって、3校統一した標語を決定します。2学期には掲示できると思います。

## 給食試食会を開催しました

5月29日に28名の保護者の方や地域の方のご参加を頂き、給食試食会を開催しました。会場には、手洗いチェッカーや貧血測定器、血管年齢測定器なども準備して、参加してくださった方に、給食についての理解を深めて頂くだけでなく、ご自身の体や衛生面についてもいろいろ理解して頂くコーナーも設けました。その後、給食の肉うどんを配膳して、皆様おいしく頂きました。



多くの皆様のご参加がとて嬉しかったです

多くの生徒が、気持ちのよいあいさつを返してくれています。また、私があいさつの声をかける前に、元気な声であいさつしてくれる生徒も増えてきました。声は出てないけど、会釈してくれる生徒や心ではしてくれていると感じられる生徒も増えてきて、毎朝の校門でのあいさつの声かけを嬉しく思っています。ありがとう！



あいさつはしても  
されても気持ちいい！

## ニューチャレンジ古紙回収！

今年度のPTA事業部の方が、古紙回収をもっと活発にしていきたいという想いで、新しい取組にチャレンジしてくれました。昨年度までは、古紙を持ってきてくれた生徒へ、PTAからノートを配布していました。それを今年度から、本校の購買で使えるクーポン券にし、必要なものを購買で購入する際の補助にできるようにしました。クーポン券は、事業部の方と美術部の生徒で協力して作成しました。事業部の方のできるだけ本物の紙幣の感じを出したいという要望を受けてこのようなクーポン券になりました。



今年度はすでに3回目の取組を行っていますが、少しずつ持ってきてくれる生徒が増えています。期待しています！

古紙回収に協力してクーポン券を活用して



ほし あした  
この地球の、明日のために。  
花を花に。その一歩が、この地球の未来をつくる。

【古紙回収の案内に書かれているキャッチフレーズ】

## おみごと



左の写真は、先日校内を回っているときに、第1音楽室の前の廊下で見かけたものです。今年度から絨毯敷きの第1音楽室を使用しましたが、スリッパがきれいに並べられていました。

なんて素敵なんだろうと嬉しく思って、音楽担当の先生に聞きました。すると先生がきれいに並べるように指導したわけではなく、当たり前なこととして、自主的に並べてくれたということでした。また、きれいに置いていない人には、生徒が声をかけてきれいに並べていると伺いました。素敵すぎます。

## 充実した生徒総会

6月28日に、今年度の生徒総会が開かれました。本校では、充実した生徒総会にするために素晴らしい取組ができていると思っています。

それは総会当日の活動だけでなく、事前に学級単位で行われるミニ生徒総会を設定していることです。ここでは、議案書の読み合わせを行い、学級毎の質問のまとめと質問代表者を決定します。生徒会執行部は、各学級から受け取った質問の整理や割り振りを各学級に伝えています。総会当日には、どのクラスからも堂々とした質問がされ、執行部は丁寧に返答していました。



全校生徒が集まって、一つ一つの議案に、真剣に取り組む会議ができるすごさが福南中の素晴らしさ！

## 校長先生の講評(抜粋)

私は、生徒全員が集まる生徒集会や生徒総会などが大好きです。今日の生徒総会も生徒一人一人が良い雰囲気を作ってくれていました。これは福南中の宝物です。この宝物をみんなが大切にしていこうとしてくれていることを、とても嬉しく思っています。

さて、今日、今年度の取組を提案してくれた人はリーダーとして、みんなのため頑張ろうとしてくれる人です。でもその人たちだけでは福南中では変わりません。リーダーだけでなく、生徒会の会員であるみんなが、そのリーダーを日常の中でどう支えるかが、とても大切です。生徒一人一人の皆さんのがんばりを期待しています。

## 避難訓練(防犯)

7月10日に、不審者が学校に侵入した想定で避難訓練を実施しました。

刃物を持った不審者が教室棟の1階を歩いているのを発見

発見した先生が校内電話で職員室へ連絡

暗号放送で教室待機の指示・職員室にいる先生がさすまたを持って不審者確保に向かう

確保確認後、緊急全校集会のため体育館へ移動

緊急時の隊形で整列・点呼



さすまた

先生方の取組も真剣そのものでした。どうしたら生徒の安全を守れるか、いかに連携して不審者を確保したり、通報するかなどを考えながら取り組みました。皆さんが、暗号放送を聞いて教室で待機していたときには、この様なことが繰り返されていたのです。

## 校長先生の講評(抜粋)

今日の避難訓練は不審者が学校に侵入してきたとの想定で実施しました。火災や地震の場合の避難訓練でも、それぞれ難しさはあるのですが、不審者対応の場合は、不審者かどうかを判断するのが難しく、その後の先生方への連絡や確保などの連携も、日常の中ではなかなか難しいと思っています。今日の避難訓練は、かなりの割合で先生方の訓練でした。その訓練に、皆さんは本当に真剣に協力してくれてました。心から感謝したいと思います。

廊下に並ぶ様子、体育館に入場するとき、いつもとは違う隊形に整列するとき、全生徒が集まったとき、一言も話声は聞こえませんでした。どれだけみんなが真剣に取り組んでくれたか、どの先生にも伝わりました。どの先生たちも、学校ではみんなが安心・安全に過ごせるようにしたいと願っています。そのため今日の訓練を振り返って、もしもの時に活かしたいと思っています。

さて、幼稚園での同じ想定での避難訓練では、3歳児は泣き叫んで動けなくなり、4歳児は先生にしがみついていた、5歳児でやっと先生の指示に従えるようになっていました。もし、目の前で被害に遭った人が倒れていたら、私たちも園児のように動けなくなったり、自分がどう行動したら良いのか判断できなくなることもあると思います。そうならないためには、今日のような真剣な訓練が大切です。(後略)

捕獲に行った先生から、生徒が廊下に並ぶ音が聞こえなかったと聞きました。君たちの真剣さに拍手！